

公立大学法人 大分県立看護科学大学
平成27事業年度の業務実績に関する
全体評価

平成28年8月

大分県地方独立行政法人評価委員会

全体評価

評価結果と判断理由

評価結果

全体として年度計画を順調に実施している。

判断理由

- ① 大項目のうち「Ⅰ大学の教育研究等の質の向上に関する目標」の項目についてはS評価（特筆すべき進行状況にある）、「Ⅱ業務運営の改善及び効率化に関する目標」、「Ⅲ財務内容の改善に関する目標」、「Ⅳ自己点検・評価及び情報の提供に関する目標」、「Ⅴその他業務運営に関する目標」のいずれの項目もA評価（計画どおり進んでいる）であること。
- ② 「大学の教育研究等の質の向上に関する目標」に関して、平成27年10月1日に施行された「特定行為に係る看護師の研修制度」について、九州で唯一指定研修機関に認定されたこと。また、大学院NPコースで地域枠の定員5名を増員したこと。
地域の在宅高齢者の健康維持の支援につながる予防的家庭訪問実習について、正規の科目として全学部生及び全教員が協働して本格実施したこと。

<委員会からのコメント>

NP教育の取組が看護師の特定行為研修制度の創設につながり、大分県のみならず全国に影響を与えており、高く評価できる。

【参考：大項目評価の結果】

I 教育研究等の 質の向上	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
II 業務運営の改 善及び効率化	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
III 財務内容の改 善	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
IV 自己点検・評 価及び情報提供	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
V その他業務運 営	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり

公立大学法人 大分県立看護科学大学
平成27事業年度の業務実績に関する
項目別評価

(大項目評価)

平成28年8月

大分県地方独立行政法人評価委員会

大項目評価

I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標

(1) 評価結果

	S	A	B	C	D
評価結果	特筆すべき 進行状況	計画どおり	おおむね 計画どおり	やや遅れて いる	重大な改善 事項あり

(2) 判断理由

- ①小項目評価の集計結果では、40項目（ウエイト考慮後55項目）の全てがⅢ（順調に実施している）又はⅣ（上回って実施している）の評価であること。
- ②平成27年10月1日に施行された「特定行為に係る看護師の研修制度」について、九州で唯一指定研修機関に認定されたこと。また、大学院NPコースで地域枠の定員5名を増員したこと。
- ③地域の在宅高齢者の健康維持の支援につながる予防的家庭訪問実習について、正規の科目として全学部生及び全教員が協働して本格実施したこと。

【参考：大項目評価に当たり勘案した事項】

- 教育の内容及び到達目標
 - ・ 予防的家庭訪問実習を正規の科目として本格実施し、全学部生333名が協力者80名の家庭を1～2か月に1回訪問（一人あたり4回以上訪問）し、学年に応じた学びを得た。
 - ・ 事業報告会（地域交流会）を11～1月に全14ヶ所で開催し（地域住民、協力者、学生、教員の計648名が参加）、学生が学びを発表した。実習協力者・地域住民の参加は延べ200名であった。
 - ・ 「特定行為に係る看護師の研修制度」の指定研修機関として、平成27年10月1日に厚生労働大臣の指定を受けた。
 - ・ 中期計画を変更し、大分県の支援により大学院NPコースに地域枠定員5名を増やし、これまでの定員5名から10名とした。地域枠5名の入学生を追加募集し、10名でスタートできる体制が整った。
 - ・ NP実習室を整備し、大学院生室も改修して、効果的な教育ができる設備を整えた。
 - ・ 平成27年度版看護白書に本学の「特定行為研修制度の取組」を公表した。
 - ・ 第1回日本NP学会を開催し、全国から200名を超える参加があった。
- 研究
 - ・ 県内の企業や病院と高齢者用機能食品・健康関連機器・家具の開発を行った。
- 社会貢献
 - ・ 県民の健康意識の高揚を目的に、健康・体力チェックを計3000名以上に実施した。

【参考：小項目評価の集計結果】

分類	評価対象項目数	I 実施して いない	II 十分に実 施できて いない	III 順調に実 施してい る	IV 上回って 実施して いる
教育	23(9)			14	9(9)
研究	5(2)			2	3(2)
社会貢献	12(4)			7	5(4)
合計	40(15)			23	17(15)
ウエイト考慮 後の合計	55			23	32

(注) 1 () は、ウエイト付けした項目数である。

2 大項目評価は、ウエイト考慮後のⅢ及びⅣの割合により決定する。

※小項目評価の集計結果では、40項目のすべてがⅢ又はⅣの評価であるため、A評価(計画どおり進んでいる)となる。ウエイト付けした項目を考慮しても同様の結果である。

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

- 予防的家庭訪問実習の本格化、養護教諭一種免許養成課程の開設等特色ある大学づくりに積極的に取り組んでいることは大いに評価できる。
- 特色ある大学、地域に魅力のある大学づくりに向けて、着実に評価がなされ、積極的に取り組みが展開されていること、また、研究では、外部資金導入および地域・国際社会への還元・貢献は大いに評価できる。
- 予防家庭訪問実習は学生、教員の経験値を向上させ、地域の活性化につながるものである。事業報告会の開催数と参加者数を見ても大いに評価できる。
- 学生の県内就職は大分県にとっても重要な課題であり、しっかりとした対策がとられている。
- 卒業生のUターン就職にまで手を打たれていることに感心した。

Ⅱ 業務運営の改善及び効率化に関する目標

(1) 評価結果

評価結果	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
------	--------------------	------------	--------------------	------------------	--------------------

(2) 判断理由

- ①小項目評価の集計結果では、16項目（ウエイト考慮後24項目）の全てがⅢ（順調に実施している）又はⅣ（上回って実施している）の評価であること。
②各種審議会・委員会への教員の積極的派遣や、自治体活動の支援をしたこと。

【参考：大項目評価に当たり勘案した事項】

○開かれた大学運営

- ・看護の質の向上等、地域に貢献するため、教員を積極的に各種審議会・委員会の委員として派遣した。
- ・PM2.5、放射線問題など専門分野により自治体活動を支援した。

【参考：小項目評価の集計結果】

分類	評価対象項目数	I 実施して いない	II 十分に実 施できて いない	III 順調に実 施してい る	IV 上回って 実施して いる
運営体制	8(6)			2	6(6)
人事の適正化	8(2)			6	2(2)
合計	16(8)			8	8(8)
ウエイト考慮 後の合計	24			8	16

(注) 1 () は、ウエイト付けした項目数である。

2 大項目評価は、ウエイト考慮後のⅢ及びⅣの割合により決定する。

※小項目評価の集計結果では、16項目のすべてがⅢ又はⅣの評価であるため、A評価（計画どおり進んでいる）となる。ウエイト付けした項目を考慮しても同様の結果である。

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

- ・駐車場もあり、ホールも会議やセミナーで利用出来る。もう少し周知を広げてもらいたい。

Ⅲ 財務内容の改善に関する目標

(1) 評価結果

評価結果	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
------	--------------------	------------	--------------------	------------------	--------------------

(2) 判断理由

- ①小項目評価の集計結果では、19項目（ウエイト考慮後22項目）の全てがⅢ（順調に実施している）又はⅣ（上回って実施している）の評価であること。
②教育研究の充実に向け、積極的に外部資金を獲得していること。

【参考：大項目評価に当たり勘案した事項】

○自己収入及び外部資金の獲得

- ・文部科学省・学術振興会科学研究費は28件、計5,007万円、受託研究は環境省環境研究総合推進費5,133万円、公益財団法人原子力安全研究協会の受託研究733万円を獲得するなど、教育研究の充実に貢献した。

【参考：小項目評価の集計結果】

分類	評価対象項目数	I 実施して いない	II 十分に実 施できて いない	III 順調に実 施してい る	IV 上回って 実施して いる
自己収入・外 部資金の獲得	6 (2)			4	2(2)
経費の効率化	6 (1)			5	1(1)
資産の適正管 理・有効活用	7			7	
合計	19 (3)			16	3(3)
ウエイト考慮 後の合計	22			16	6

(注) 1 () は、ウエイト付けした項目数である。

2 大項目評価は、ウエイト考慮後のⅢ及びⅣの割合により決定する。

※小項目評価の集計結果では、19項目のすべてがⅢ又はⅣの評価であるため、A評価（計画どおり進んでいる）となる。ウエイト付けした項目を考慮しても同様の結果である。

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

- ・1億を超える外部資金獲得については評価できる。
- ・外部資金の獲得は、看護科学大学の実績と信用の賜だと思う。
- ・電力使用量抑制の取組は、教育としても、法人としても、立派な取組であり、評価できる。

IV 自己点検・評価及び情報の提供に関する目標

(1) 評価結果

評価結果	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
------	--------------------	------------	--------------------	------------------	--------------------

(2) 判断理由

- ①小項目評価の集計結果では、11項目（ウエイト考慮後12項目）の全てがⅢ（順調に実施している）又はⅣ（上回って実施している）の評価であること。
 ②大学ホームページについて、大学紹介等の情報が得やすく分かりやすいものとなるようリニューアルしたこと。

【参考：大項目評価に当たり勘案した事項】

- 情報公開・情報発信
 ・大学ホームページについて、大学紹介等の情報が得やすく分かりやすいものとなるよう、デザインやサイト構成の見直し等を行いリニューアルした。
 ・大学ホームページに掲載している大学Q & Aを年3回更新し、入試情報等を新たな記事として公開した。

【参考：小項目評価の集計結果】

分類	評価対象項目数	I 実施して いない	II 十分に実 施できて いない	III 順調に実 施してい る	IV 上回って 実施して いる
自己点検・ 自己評価	5			5	
情報公開・ 情報発信	6 (1)			5	1 (1)
合 計	11 (1)			10	1 (1)
ウエイト考慮 後の合計	12			10	2

(注) 1 () は、ウエイト付けした項目数である。

2 大項目評価は、ウエイト考慮後のⅢ及びⅣの割合により決定する。

※小項目評価の集計結果では、11項目のすべてがⅢ又はⅣの評価であるため、A評価（計画どおり進んでいる）となる。ウエイト付けした項目を考慮しても同様の結果である。

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

特になし

V その他業務運営に関する目標

(1) 評価結果

評価結果	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
------	--------------------	------------	--------------------	------------------	--------------------

(2) 判断理由

- ①小項目評価の集計結果では、17項目のすべてがⅢ（順調に実施している）又はⅣ（上回って実施している）であること。
②地震等大規模災害に備え、非常用食料及び簡易トイレ等の必需品を備蓄したこと。

【参考：大項目評価に当たり勘案した事項】

- 施設・設備の整備・活用
・図書システムの更新を行い、これまでの継続性を維持しながら利便性の向上を図った
○大学の安全管理
・地震等大規模災害に備え、非常用食料及び簡易トイレ等の必需品について、学生・職員及び地域住民に対応できる数量を備蓄した。

【参考：小項目評価の集計結果】

分類	評価対象項目数	I 実施して いない	II 十分に実 施できて いない	III 順調に実 施してい る	IV 上回って 実施して いる
施設・設備の 整備・活用	5 (1)			3	2(1)
安全管理	8 (2)			5	3(2)
人権尊重推進	4 (1)			4(1)	
合計	17 (4)			12(1)	5(3)
ウエイト考慮 後の合計	21			13	8

(注) 1 () は、ウエイト付けした項目数である。

2 大項目評価は、ウエイト考慮後のⅢ及びⅣの割合により決定する。

※小項目評価の集計結果では、17項目のすべてがⅢ又はⅣの評価であるため、A評価（計画どおり進んでいる）となる。ウエイト付けした項目を考慮しても同様の結果である。

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

- ・人権尊重の推進については、継続的な意識付けの徹底を期待している。